

育成だより

第52号

令和5年7月11日

貝塚中学校区
青少年育成委員会

「三つの信」を大切に！

貝塚中学校区育成委員会会長 日暮 規夫

コロナ対策はマスクの着用も自己判断、感染分類も二類から五類に移行し、生活活動も緩和されつつあります。各学校では新学期も始まり、各種行事が着々と推進されています。運動会・体育祭と元気に躍動している事でしよう。昨日、小学校の運動会を参観しました。特に、一年生の徒競走は昨日まで幼稚園生とは思えない力走、頼もしい限りでした。北貝塚小では創立五〇周年、貝塚中は四〇周年を迎えます。祝意を表すと共に今後とも教育の充実を祈念致します。

当委員会も数年ぶりに定期総会を開催致しました。対面での協議をし、活動方針等を確認致しました。国では「こども家庭庁」が発足されました。子供達を取り巻く環境も多様・複雑化しています。今度の具体的な対応策を期待したいものです。

学校生活に対し、中学生が三つの信を大切にしたいとの某コラムを読み、感銘致しました。

「仲間を信じること」「信頼される人間になること」「自分に自信を持つこと」大人も改めて見習いたい言葉でしょう。

マスクの着用も緩和、子供達も素顔で活動、実りある事を切望したいものです。

育成活動もまだまだ自粛せざる得ない状況ですが、見守り活動等が重要です。更なる健全育成に向け、地域一丸となり推進

することが肝要です。皆様のご理解と協力をお願い致します。

貝塚中学校 二年目を迎えて

貝塚中学校 校長 山口 鉄也

本校に着任して二年目を迎えました。令和五年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和五年度は、二二一名の新入生を加え、全校生徒六二〇名でスタートしました。本年度は請願校として開校してから四〇年目の節目を迎えています。そして変わりに受け継がれている校訓が「自主・創造・練磨」です。

今年度のスタートにあたり、生徒達には周年行事があるから頑張るのではなく、「一人一人が目標を持ち、充実した生活をし、それぞれ成長すること」を大事にし、そのことが「学校の発展」につながる、と話しています。

保護者の協力を得ながら、そして地域の皆様にあたたかく見守られながら、三年生の修学旅行（北陸地方）や四年ぶりの全校一斉開催となった体育祭と、ここまで順調に四〇周年の節目にふさわしい教育活動を展開することができています。今後、さらに充実した生活を生徒とともに送ることができるよう、職員が一丸となって教育活動の充実に努めてまいります。

育成委員会の皆様には、日頃より学区の安全や行事等を通じて育成委員へのご参

加、さらに、本校の教育活動に対しましてご支援、協力を賜り、深く感謝申し上げます。

間もなく、生徒たちが楽しみにしている夏休みを迎えます。学校において休み前の指導は行つて参りますが、各地域での見守り等ご支援をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

桜木小学校に着任して

桜木小学校 校長 山下 拓

四月に桜木小学校に着任しました校長の山下です。育成委員会の皆様には、日頃より、学区の安全や、様々な行事等を通じて児童生徒の健全育成に加え、本校の教育活動につきまして、多大なるご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本年度は、新入生一一六名を迎え、全校児童六九一名で教育活動をスタートしましたが、どの学級でも新しい先生、友達とすぐに仲良くなり、落ち着いた雰囲気です。スタートすることができました。

今年度も、引き続き保護者や地域の皆様方と手を携えながら、子どもたち一人一人の願いに即した教育活動を実践し、本校の学校教育目標である「よく学び心豊かたたくましく生きる子ども」の育成、地域と共に歩む学校への実現に向け、努力を重ねて参ります。育成委員会の皆様には、これからも昨年度と同様に本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、七月に入ると二週間ほどで、長い夏休みに入ります。子どもたちには、事件・事故に巻き込まれないように、また、有意義な生活を過ごせるように、事前の指導を十分に図つてまいります。育成委員会の

皆様には、子どもたちの見守り等でお力添えいただけますようよろしくお願い致します。

「共に育てる教育」をめざして

北貝塚小学校 校長 大矢 郁乃

今年度、本校は創立五〇周年を迎え、記念事業として、改めて五〇年の歴史と伝統学校・家庭・地域とのかかわりを継承しながら様々な教育活動に取り組みます。

五月のスポーツフェスティバルでは、三年ぶりにご参観いただく保護者様の人数の制限は設けず、多くの皆様にご来校いただきました。早朝より子供たちの全力を尽くす姿、のびのびと表現する姿に温かなご声援をいただきました。各種目には五〇周年のお祝いのアイデアがいっぱいでした。また、五年生は総合的な学習の時間「マイ米調査隊」の学習に関連して、農家、女性部、JAの方をお招きして、バケツ稲の田植え体験をしました。米づくり名人より「米は八十八の手間をかけて愛情深く育てる」というお話をいただき、心を込めて植えました。本校の学校農園「北貝ファーム」は、地域の農家の方にトラクターで畑を耕し肥料と混ぜ合わせて畑づくりをしていただきました。一・六年生のペア学年、三年生、えがお学級の子供たちで、紅あずまと紅はるかというサツマイモの苗を二百本ずつ植えました。こちらも秋の収穫がとて楽しみます。三年生は地域のスーパーマーケットの見学に行きました。お店の方のお話や調べ活動を通して、お客様や地域のための様々な工夫をたくさん発見できました。

今後も地域の方や学習材とかかわりあい、地域のよさを再発見し、発信する活動

今年度の主な事業計画

- ◎育成だより発行（広報部：年間2回）
 ◎標語コンクール
 ◎浴衣着付け教室（7/5）
 ◎夏休み対策活動（7/15～8/27）
 ◎スポーツイベント（デ ィャップ）（協力会：8/5）
 ◎交通安全指導（福祉・交通安全部：4/6,8/28,1/9）
 ◎青少年の日・家庭の日（9/16）
 ◎地域ぐるみ一斉点検パトロール（7/1,12/2）
 ◎冬休み対策活動（12/23～1/8）
 ◎書き初め展（健全育成部：2月）
 ※社会情勢によって実施の可否が変更になります

に取り組んでまいります。子供たちは地域の宝です。学校・家庭・地域の連携協働のもと、子供たちを「共に育てる教育」の実現と子供たちの健全育成のために、育成委員会の皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。

四〇周年の貝塚中、つながる伝統

貝塚中学校 教頭 石塚 直樹

創立四〇周年を迎える本年度は、生徒数六二〇名十八学級でスタートしました。コロナ禍の様々な制限が少しずつ緩和され、通常の学校生活に戻りつつあります。しかし、一言で「通常」と言っても、現在の3年生も制限の中での生活体験しかないの、で、「本来の貝塚中」の様子がわかりません。職員も同様で伝統をどう伝承していくか悩ましいところでもあります。そのような状況の中でも、チーム貝塚として教師、生徒、保護者が一丸となって頑張っています。学校行事としては、四月には授業参観を実施。五月には三年生が金沢方面へ二泊三日の修学旅行に行ってきました。そして六月には、四年ぶりに全校が一堂に会し、制限なしの保護者参観のもと体育祭が開催

されました。とても多くの保護者の皆さんに参観していただきました。

いろいろな行事をきっかけにし、同時に普段の学校生活も含め、これからの貝塚中の伝統を築き上げていく気構えで、四〇周年の節目の年を迎えています。これというのも地域の方や保護者の方々の力添えがあつてこそのものであります。これからも一つの活動を、どのようにつくりあげていくのかを、生徒たちと保護者、地域の皆様、本校の教職員と知恵を出し合いながら考え、新しい伝統を構築していきたいと思ひます。今後とも育成委員会の皆様の、ご協力とご支援をよろしくお願い致します。

地域と共に歩む桜木小

桜木小学校 教頭 小松 司

令和五年度、全校児童六九一名での新たな教育活動がスタートして三か月が経過としていきます。桜木小の明るく活発な子供たちが、毎日元気に学校生活を送っています。

今年度は新型コロナウイルスの五類移行を受け、校内での教育活動も徐々に以前の活気を取り戻しつつあります。五月には上・下学年の二部制ではありましたが、三年ぶりに「運動会」を実施することができました。また、全校集会や水泳学習など子供たちが集い、共に生き生きと活動する場面が増えてきています。

そのような充実した日々とすることができていくのも、地域の皆様の温かな想いやサポートがあつてこそです。地域の皆様は、桜木小にとって欠かすことができない子供たち、そして教職員の貴重な財産です。これまでと同様に学校・保護者・地域が一体となり、これまでの経験を生かしながら、コロナ禍を乗り越えた「新たな教育活動」を展開していきたいと考えております。

今後とも、子供たちが安心・安全に学校生活を送るとともに、活気溢れる教育活動を展開できますよう、育成委員会の皆様のご協力とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

「地域とのかかわりを大切に五〇周年節目の一年」

北貝塚小学校 教頭 畠山 英也

今年度、緑区の越智小学校から参りました。若葉区赴任は初めてですが、自分の住まいが若葉区なので若葉区には愛着を持っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

今年度は一三六名の新入生を迎え、八九〇名でスタートしました。明るく元気な子供が多く、休み時間校庭を元気よく走る姿をよく見かけます。世間では新型コロナウイルス感染症も五類へと移行し、数年前の日常を取り戻しつつあります。同様に本校でも学校行事等においては、通常通りの形に近づけつつ職員がアイデアを出し合い、効率のよい新しいスタイルにも挑戦しているところでもあります。

また、今年度の大きな行事として、「創立五〇周年記念事業」があります。各学年において、地域や学校がますます好きになるような学習単元を展開し、地域・学校の絆が一層深まるよう計画をしております。十一月八日（水）にはセーフティウォッチャーさん等、地域の方々をお呼びし「記念式典」を子供たちが主体となり集会形式で行います。開校時より北貝塚小学校を支えていただいた地域の皆様に感謝と尊敬を込めた一年間となるよう、学校全体でお祝いムードを盛り上げていきます。今後も育成委員会の皆様をはじめ、地域とのかかわりを大切にし学校教育活動を推進してまいります。引き続きご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

令和五年度 育成委員会活動方針

地域住民の青少年問題に対する共通の理解を深め、地域における青少年問題関係機関・団体の相互の連絡調整を図りながら地域ぐるみで青少年の健全育成活動を総合的に推進する。

一 豊かな個性と自立・協働の精神を育て、地域ぐるみで二十一世紀に活躍できる青少年の健全育成を推進する。

二 大人が率先して、マナーやモラルの低下を防止する努力をする。また挨拶の励行や青少年に悪影響を与える薬物利用等の有害環境を除去し、その浄化に努める。

三 児童・生徒とのかかわり危険性についての研修を行い、様々な被害から子供たちを守る。

四 「朝ごはんをきちんと食べる」家庭教育的の充実を図り、子育てにおける家庭教育の重要性の啓発に努める。

五 近所や各地域で気軽に相談できる環境を作り、地域で児童・生徒の安全を守るための取り組みを積極的に推進する。

※ 近年、新型コロナウイルス流行における各種行事の中止や規模縮小があつたが、感染症対策をしっかりととりつつ健全育成活動を推進する。



編集後記

コロナの制限もほぼ解けて、今年度は通常の学校行事がすすめられています。本年度は、北貝塚小学校が創立50周年、貝塚中学校が創立40周年をそれぞれ迎えます。節目となる年を迎えることは運営者のみならず、在校生・卒業生・父兄・地域住民にとっても様々な思い出があるのではないのでしょうか。節目は、学校を立ち上げた先人に思いを馳せ、未来に夢と希望を抱く重要な時だと感じました。 広報部 前島孝夫